

氏名	種 谷 節 郎
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 4 3 0 号
学位授与の日付	昭和45年 6 月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	高血圧症の心音図学的研究 第1編：高血圧症の心音図 第2編：高血圧症の亜硝酸アルミ吸入負荷心音図
論文審査委員	教授 大 藤 真 教授 平 木 潔 教授 中 山 沃

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

第1編では高血圧者118例の心音図を分析検討した。その結果、I音持続時間の延長を認め、最大圧の上昇と関連性をもっていること、Q II / Q T比は最大圧、最小圧の上昇とともに縮少し、拡張早期奔馬音な心電図所見と関連性があり、心筋の不全状態に対して生じた相対的拡張期負荷の増大とみなされること、心尖部収縮期雑音は駆出性であったことから、高血圧性心不全が心筋の虚血性変化によることが考えられること、雑音持続時間と心房性尖奔馬音、必電図所見との間には関連性があり、臨床的心不全との関連性も予測出来ることなど明かにした。

第2編では高血圧者74例の亜硝酸アルミ吸入による心音図変化を検討した。その結果、負荷後、I音持続時間は延長傾向を示し、Q II時間は絶対的短縮例が増加し、拡張早期奔馬音、心房性奔馬音ともに高血圧者で負荷後亢進し、それは左室肥大と関連性があり、心尖部収縮期雑音は高血圧者で持続時間が負荷後延長し、振幅も増大することを認めた。

論文審査の結果の要旨

本研究は、高血圧者の心音図を分析検討したものであるが、高血圧性心不全の機転を心音図の面から解釈する重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。